

【LAMP法による動物種判別】

Loop-Mediated Isothermal Amplification (LAMP) 法：ターゲット遺伝子、プライマー、鎖置換型DNA合成酵素、基質等を混合し、一定温度（65℃付近）で保温することで遺伝子を増幅させる方法。

MyAbscope®は研究用途としてのみ使用して下さい。尚、ヒト、動物への医療、臨床診断等に使用しないで下さい。

＜実験プロトコル＞

使用キット：

- 動物種判別 LAMP 法用プライマーセット ブタ用（株式会社ニッポンジーン）
- LAMP 法用DNA 増幅試薬セット 一動物種・植物病検査専用Aー（株式会社ニッポンジーン）

検体：市販生肉（ブタ生肉、ウシ生肉、トリ生肉）

- ① カネカ簡易DNA抽出キットversion 2の試薬A 100 μLを1.5 mLチューブに加え、そこに各検体100 mgを入れ、MyAbscope®の高温処理部にセットし、98℃で8分加熱後、室温まで冷却してから試薬Bを14 μL添加
- ② 得られたDNA抽出液およびLAMP 法用DNA 増幅試薬セット付属の増幅試薬を0.2 mLチューブ（D-QUICK*入り）に加え、MyAbscope®の恒温・吸光度測定部にセット
- ③ 64℃、30分の条件下でLAMP反応させながら、Gセンサで吸光度変化をリアルタイム測定

*カネカが独自開発した核酸着色技術

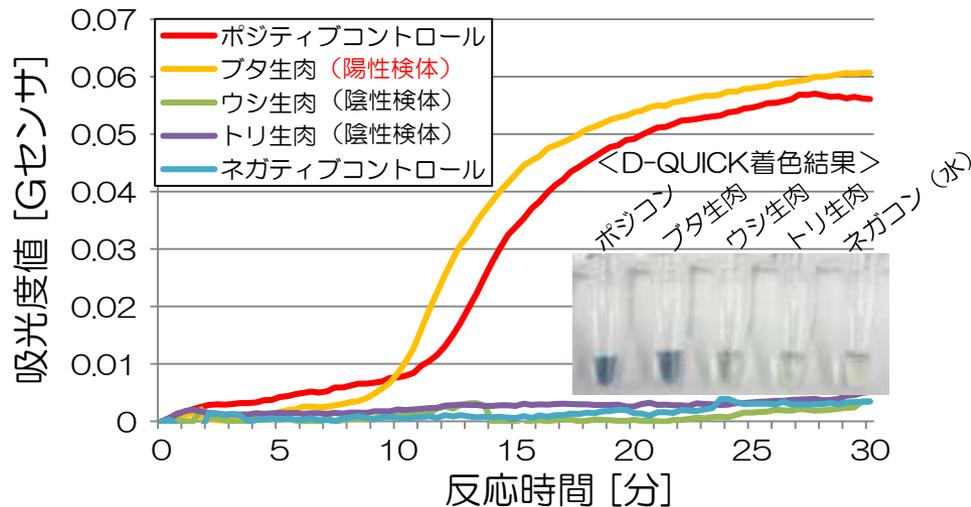
【DNA抽出】カネカ簡易DNA抽出キット version 2を使用



【LAMP反応】



＜実験結果＞【カネカ取得データ】



MyAbscope®とD-QUICKを組み合わせることで30分以内でLAMP法による動物種判別が可能！